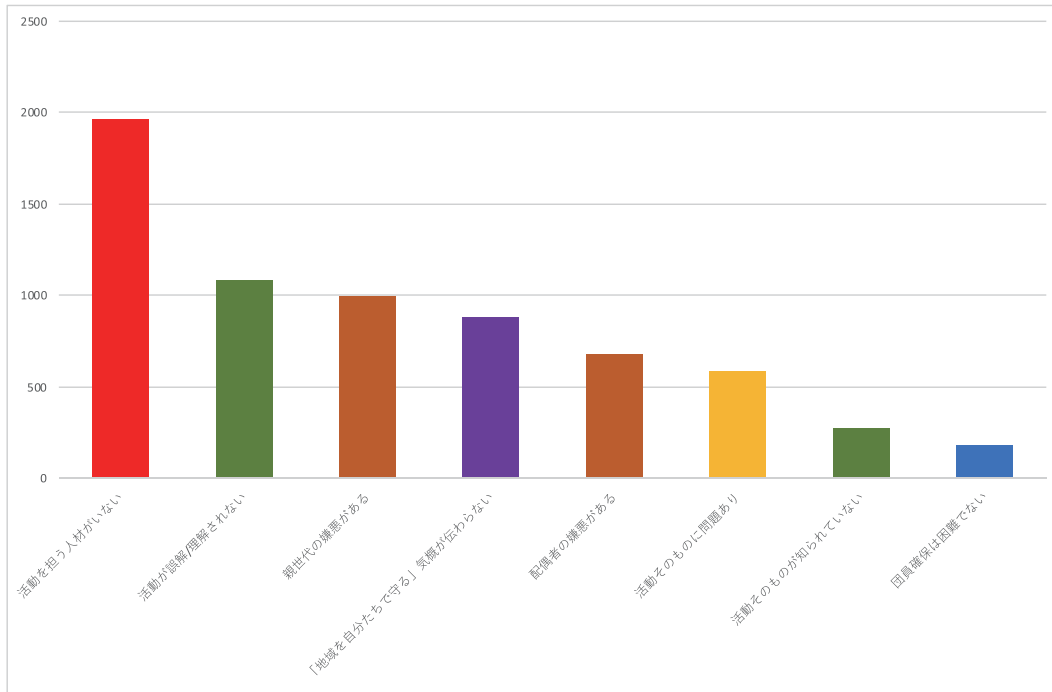


問13

団員確保が困難な理由



問13. 団員確保が困難な理由

1. 質問項目を設けた経緯: 団員確保が困難な理由は少子高齢化だけではない

ヒアリング調査において、「団員確保が困難な理由は少子高齢化だけでない」「根深い理由が多く、なかなか打破できない」との懸念が示された。「消防団活動と言えば、飲むイメージが強い」「とにかくプライベートな時間が無くなるイメージがある」「本人はその気でも、親が強固に入団を拒絶する傾向がある」「地域はだれも守ってくれない。自分たちで守る、という気概のない人が増えた」との声があった。

2. アンケート調査項目: 団員確保が困難な理由

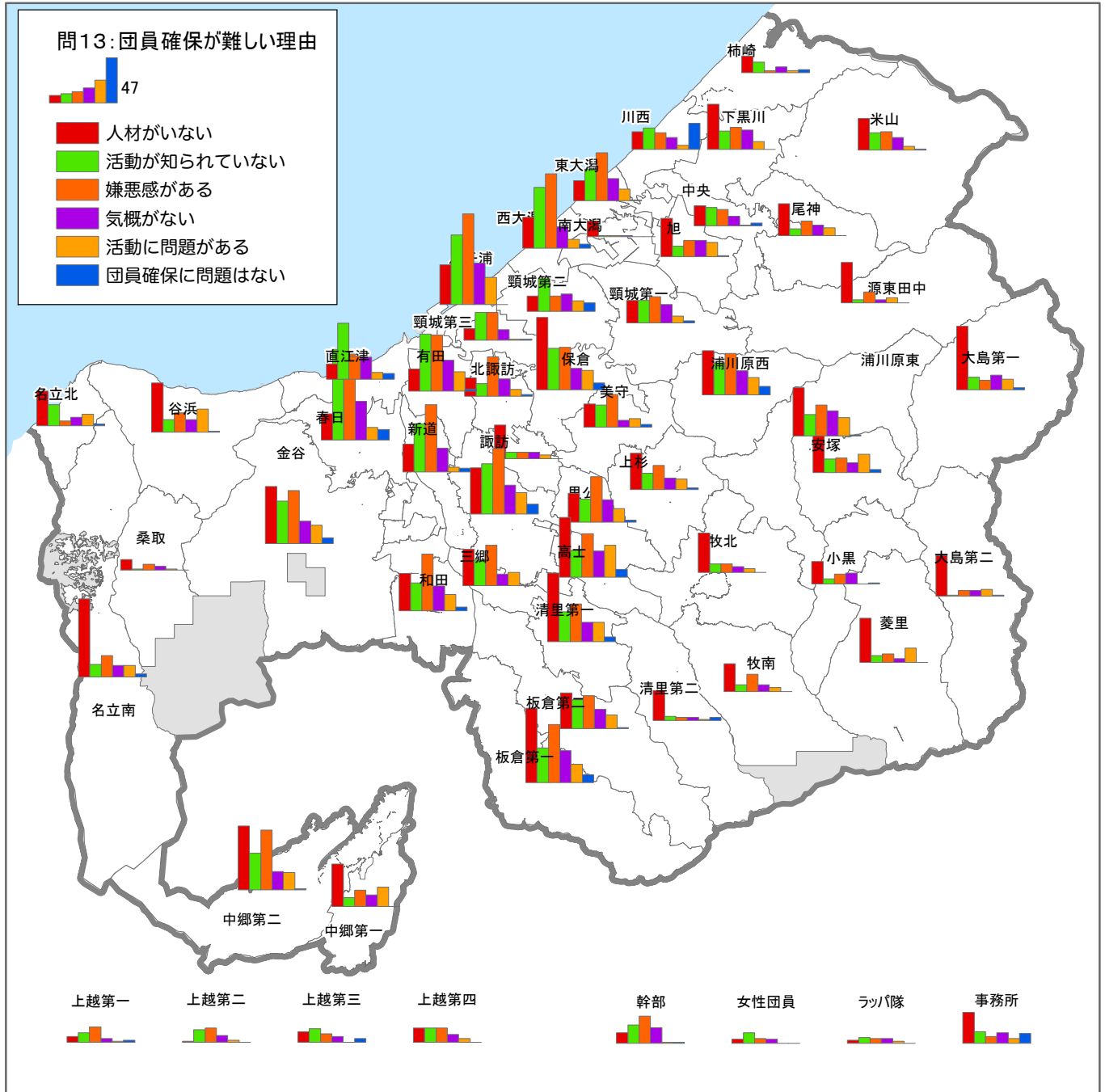
● 団員確保が困難な理由に関する質問

問13. あなたの所属する分団において、団員確保が困難な場合、その要因は次のうちどれですか（複数選択可）

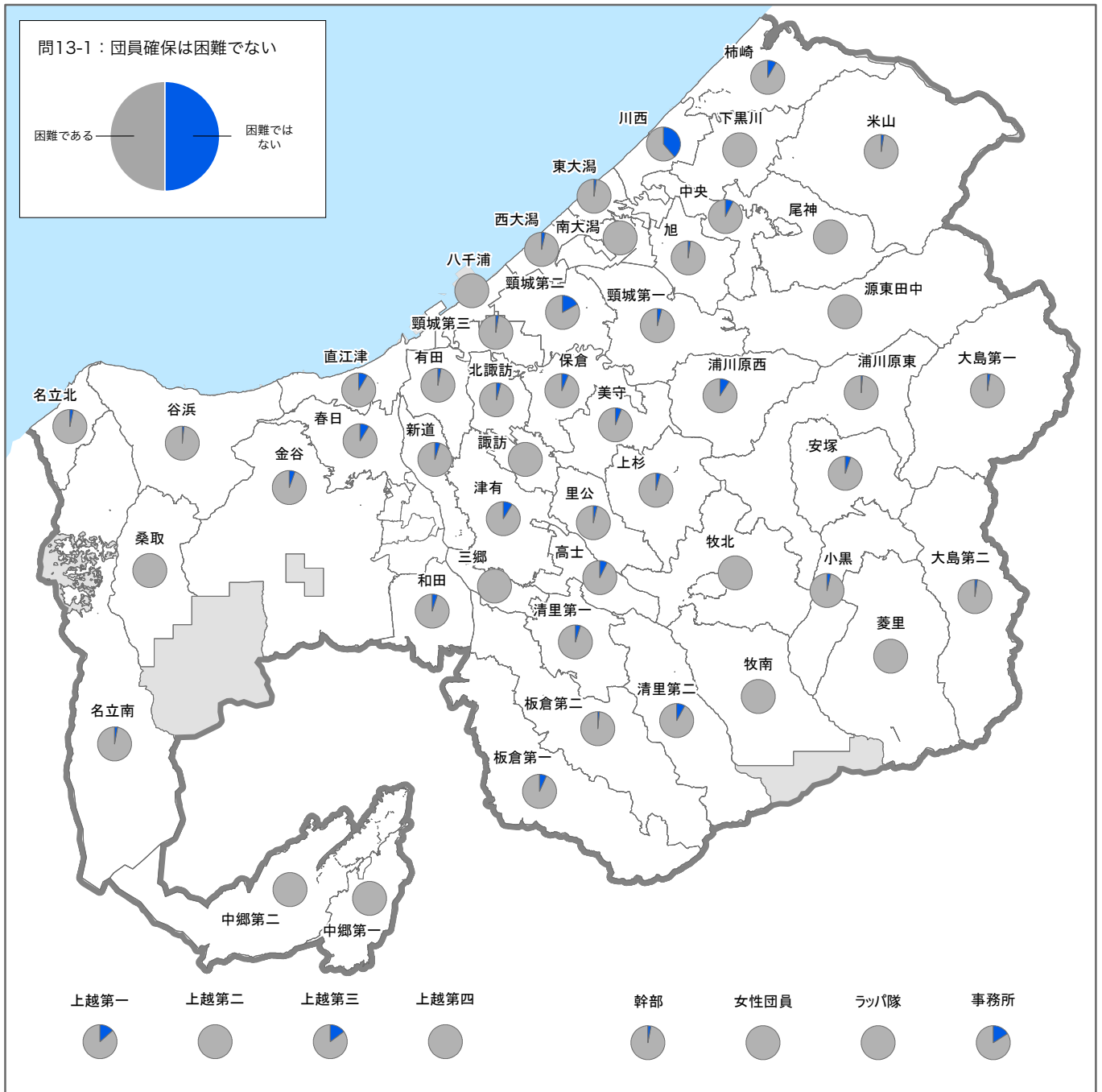
- ・ 団員確保は困難ではない 181
- ・ 消防団活動がそもそも知られていない 277
- ・ 団員活動に対する誤解、又は活動が理解されていない 1,084
- ・ 消防団活動に対して親世代の嫌悪がある 995
- ・ 消防団活動に対して配偶者の嫌悪がある 681
- ・ 消防団活動の意義「地域を自分たちの手で守る」気概が伝わらない 884
- ・ 消防団活動そのものに問題がある 586
- ・ 消防団活動を担える人材がない 1,963

3. 調査結果(棒グラフ・全体): 団員確保が困難なのは、人員がいないだけでなく、活動が理解されない、活動を嫌悪する層が一定数存在することが理由である

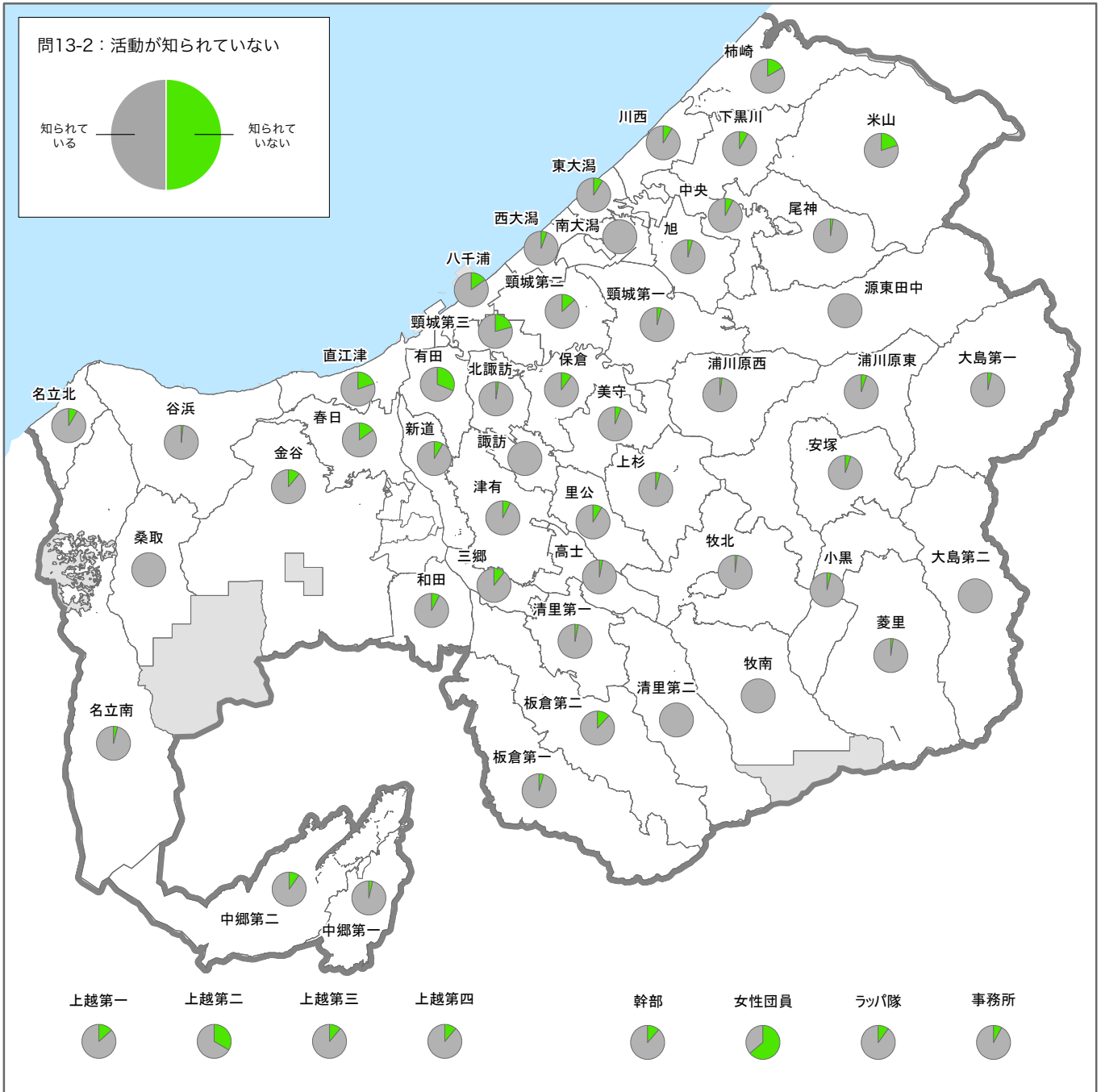
一番の問題は「人材がいないこと」という結果となった。これは対象となる世代そのものが減っているということもあるが、活動を担ってもらえる人材が見つからないことも指摘している。地域における顔の見える機会が減少しており、声かけの機会すら見つけられない。「活動が理解されない」「活動が知られていない」、「親世代・配偶者の消防団活動に対する嫌悪がある」が根深い理由として挙げられた。また、「地域を自分で守る気概が伝わらない」、「消防団の活動そのものが知られていない」との声も多かった。



66頁に示した問13における団員確保が困難な理由を、分団ごとに可視化し、その傾向をみた。左から「人材がない（赤）」「活動を知らない（緑）」「活動に嫌悪感がある（茶）」「地域を守る気概が伝わらない（紫）」「活動に問題がある（橙）」「団員確保に問題はない（青）」の棒グラフで示している。



66、67頁に示した問13において「団員確保は困難ではない（青）」との回答が多かった設問における分団ごとの回答傾向を示す。円グラフの青は「団員確保は困難ではない」と回答した団員の割合を示した。



66、67頁に示した問13において「活動を知らない（緑）」との回答が多かった設問における分団ごとの回答傾向を示す。円グラフは「活動を知らない（緑）」と回答した団員の割合を示した。